

新潟県中越沖地震に関する 現地調査団の派遣について

平成19年（2007年）7月16日午前10時13分頃、新潟県上中越沖（北緯37度33.4分、東経138度36.5分）の深さ約17kmを震源とするマグニチュード6.8の直下型地震が発生した。最大震度は、新潟県長岡市、柏崎市、刈羽村、長野県飯綱町の震度6強であった。8月3日現在、死者11名、重軽傷者1,987名、住家全壊1,069棟、住家半壊2,129棟の被害が消防庁より報告されている。気象庁は、この地震を「平成19年（2007年）新潟県中越沖地震（英語名称：The Niigataken Chuetsu-oki Earthquake in 2007）」と命名した。

地震による被害はインフラも例外ではなく、生活の根幹をなす電気・ガス・上下水道などのライフラインは寸断され、道路・鉄道・河川などの土木施設にも甚大な被害が生じている。また、東京電力柏崎刈羽原子

力発電所の被害については、国内外のメディアで大きく取り上げられている。

道路管理技術委員会（北海道道路管理技術センターに設置）では、北海道の道路管理に資することを目的に、現地調査団（団長：三浦清一 北海道大学大学院教授）を派遣し、柏崎市とその周辺の被害調査を行った（7月27日～7月30日）。現地では、斜面崩壊、地すべり、液状化現象などの地盤被害が多く確認された。なお、現地調査の詳細については、現地調査速報会の開催を下記のとおり行うとともに、ホームページなどを通して報告する予定である。

日時 平成19年8月27日(月) 13時～14時50分

場所 ホテルポールスター札幌



『北の交差点』バックナンバーがご覧になれます。(PDF形式)

（財）北海道道路管理技術センター URL <http://www.rmec.or.jp/>

『北の交差点』とは…

古来、道が交わる場所では、人々の交流が生まれ、さまざまな文化が育ってきました。『北の交差点』というタイトルは、安全で快適な道路環境の創出を目指して、維持・管理に関係する「人」や「情報」が交流するところをイメージしています。

安全で快適な道路環境の創出を目指す技術情報誌

北の交差点[®] VOL.21

●2007年8月発行

●編集・発行／財団法人北海道道路管理技術センター

〒060-0807 札幌市北区北7条西2丁目20番地 東京建物札幌ビル6F

TEL 011-736-8577 FAX 011-736-8578

●制作・印刷／株式会社須田製版